

佳作

おきなわの海

茨城県 日立市立坂本小学校四年 水出 瀬蘭

「うわあ、きれい。魚もいっぱいだ。」

わたしは、今年の夏休みに、おきなわ県に旅行に行き、シュノーケリングをしました。海に入る前は、どんな魚に会えるのか、わくわくしました。早く海に入りたくて、水着を着て、その上にウェットスーツを着るのが、一番のりでした。

海まで車でい動し、インスタクターのきょうやさんに、ゴーグルとマスクの付け方を教わりました。わたしには足に付けるフィンが大きすぎたので、わたしだけうき輪につかまって、海の中をい動しました。

「海の中を見てごらん。」

と、きょうやさんに言われたので、わくわくしながら海の中をのぞいてみました。

「うわあ、魚がいっぱい。すごい。」

あまりにもたくさん魚におどろいて、大きな声を出してしまいました。たつまきみたいなのに、むれで泳ぐ小さい魚たち。岩の所にかくれて、顔だけ見えるかわいい魚。動きがずばしっこくて、さわろうとしてもさわらせてくれない魚たち。にじいろやしましま、水玉のもようのあるきれいな魚たち。海の底の方に、ゆっくり泳ぐ大きな魚。細長くてヘビのような魚。初めて見る四角い形の魚。大きさも形も色もすべてちがう、たくさん魚の泳ぐすがたが目の前に広がっていました。まるで、水族館の中を泳いでいるようで、むねの音がドキン、ドキンと大きくなりました。

「魚にエサをあげてみようか。」

エサをもらって、海の中に入れてみました。いっせいに、たくさん魚が集まってきたので、びっくりしておもわず手をひっこめてしまいました。おそろおそろまた手をそっと入れると、また、わたしの持つエサのまわりに、魚が集まってきました。そっとさわろうとしても、すぐににげてしまったのかなかさわれなかつたけれど、やっと魚にタッチすることができました。行きの車の中で、

「おきなわの魚は、ハイタッチしてくれるんだよ。」

と、ドライバーさんが教えてくれたことを思い出し、魚とタッチできたうれしさで、海の中でえがおになりました。

魚のむれを見たあとに、青のどくつに向かいました。うす暗い入り口を入ると、今までに見たことのない、とう明ですんだ青い海が広がっていました。きれいな水の色だったので、海の中にすいこまれそうになって、ひっしでうき輪にしがみつきました。

たくさんの魚に会えて楽しかったし、きれいな海が見られたので、おきなわの海が大好きになりました。

わたしの住んでいる日立市にも、きれいな海が広がっています。わたしは、日立市の海が一番好きでした。でも、今回の旅行で、おきなわ県の海も日立市の海と同じように、一番大好きな海になりました。